



地質技術伝承講演会

地質技師長が語る地質工学余話



申込方法：ジオスケーリングネットによる登録または学会へのFAX、下記担当幹事へのe-mailにて受付ます。
ジオスケーリングネット：https://www.geo-schooling.jp/
日本地質学会気付関東支部宛 FAX03-5823-1156、担当 緒方信一 ogata@ckcnet.co.jp

主催 日本地質学会関東支部
共催 (社) 全国地質調査業協会連合会 関東地質調査業協会
後援 (一般社団) 日本応用地質学会

日時 2010年4月18日(日) 13:30~16:00

場所 北とぴあ
(東京都北区王子1-11-1)
7階 第1研修室

続いて、関東支部総会(16:00~16:30)を実施します。

参加費 無料



地質調査において現在地の確認は最も大切な作業の一つである。しかし、地形図の等高線は正しいとは限らない。航空写真では、樹木の下は地形は、正しく認識できていないことが多かったのである。近年の航空レーザー計測によって取得された1mメッシュの高解像度データでは、樹木の下は地形取得できたが、表現するすべがなかった。

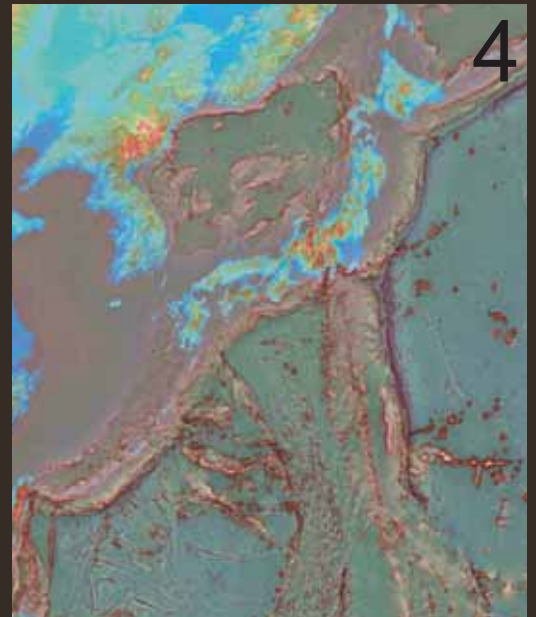
演者は、2002年に赤色立体地図という地形データの可視化手法を提案し、以来、おもに火山の地形地質の現地調査で活用してきた。その後データ作成の現場で検証用に使用されたり、大地形の表現にも利用されてきた。本講演では、赤色立体地図を使用した、地質調査技術を解説するほか、大判高精度画像や、赤色立体地図の削りだし3D模型を持参する。触ることによる立体感と比較してほしい。



1



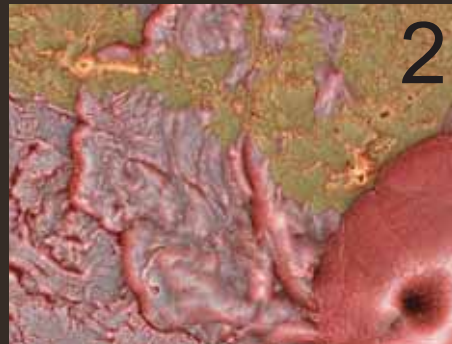
2



4



1



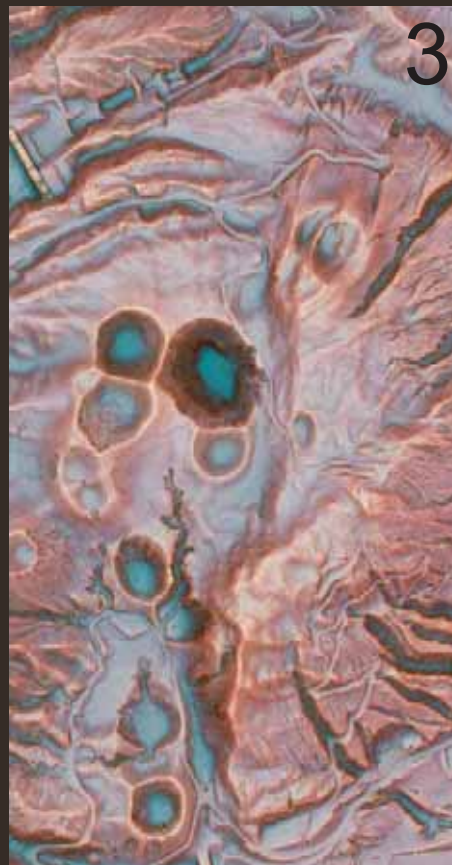
2



5



3



3

航空レーザー計測赤色立体地図とオルソ空中写真との比較事例 1:富士山北西部青木ヶ原溶岩流水穴火口付近 2:富士山北西部青木ヶ原溶岩流石塚火口付近(黄色着色が青木ヶ原溶岩) 3:北海道有珠山北部明治噴火火口群 1および2は、千葉ほか(2007)による4:日本列島周辺海域の海底赤色立体地図, 千葉(2006) 5:精進湖湖畔に露出する青木ヶ原溶岩

講演

千葉達朗(ちばたつろう)氏

アジア航測総合研究所技師長・理事
日本大学文理学部地球システム科学科
非常勤講師



日本大学文理学部応用地学科卒業
日本大学大学院理工学研究科地理学専攻博士後期課程修了。
日本大学文理学部応用地学科勤務
アジア航測に1989年入社 現在に至る。
技術士応用理学部門(地球物理、地質) 測量士
2005年に赤色立体地図作成法特許登録(特許第3670274号)
2006年「赤色立体地図でみる日本の凸凹」出版
航空レーザー計測+赤色立体地図を使用した地質調査を実践中
インターネットの掲示板「ある火山学者のひとりごと」の管理人
<http://arukazan.jp/bbs/>